

令和8年8月1日

 ひので
議会だより



日の出町
ひのでちゃん

みらい

No. 219

令和8年
第2回定例会

Contents

議案と結果……………	P 2
一般質問 町政を問う…	P 3
自習室開放中……………	P 9
議会日誌……………	P10

議 案 と 結 果

令和8年第2回日の出町議会定例会（会期：令和8年6月1日～令和8年6月15日）

<町長提出議案>

○…賛成 ×…反対 —…欠席

番号	議 案 名	自	公	み	レ	立	都	黎	結 果
38	専決処分の承認を求めることについて （日の出町町税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	—	承 認
39	専決処分の承認を求めることについて （日の出町都市計画税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	—	承 認
40	専決処分の承認を求めることについて （日の出町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	○	○	○	○	○	○	—	承 認
41	日の出町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	—	同 意
42	日の出町地域公共交通会議設置条例	○	○	○	○	○	○	—	可 決
43	令和8年度日の出町一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
44	令和8年度日の出町下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	—	可 決
45	固定系防災行政無線親局設備更新工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	—	可 決
46	日の出町都市公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	—	○	—	可 決
47	令和8年度日の出町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	—	○	—	可 決
48	町立小中学校屋内運動場空調機器賃貸借契約の変更について	○	○	○	○	—	○	—	可 決

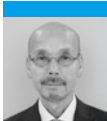
<請願・陳情>

○…賛成 ×…反対 —…欠席

番号	議 案 名	自	公	み	レ	立	都	黎	結 果
1	「原油由来製品不足・価格高騰における中小企業等への直接支援制度の創設を国に求める意見書」提出を求める陳情書	×	×	○	×	—	×	—	不採択
2	原油・原材料高騰の打撃から経営難に直面する町内の事業者への支援を求める陳情書	×	×	×	×	—	×	—	不採択

<各会派の名称と所属議員>

会 派 名	略 号	所 属 議 員（★印…会派代表者）	
自 民 蒼 政 ク ラ ブ	自	★木住野 智行・平野 隆史・川脇 敏徳・濱中 映慈・濱中 直樹・玉井 大・野崎 智経	7 人
公 明 党	公	★嘉倉 治・縄井 貴代子	2 人
レ モ ン の 会	レ	★大澤 弘子	1 人
み ど り の 会	み	★萩原 隆旦	1 人
立 憲 民 主 党	立	★下向 辰法	1 人
都民ファーストの会	都	★鈴木 正彦	1 人
黎 明 会	黎	★塙 康平	1 人



しもむかい たつのり
下向 辰法



当町の社会教育施設について

Q 当町の社会教育施設とは。

A 教育委員会として、日の出町における社会教育の現状や社会教育施設をめぐる諸課題を分析し、社会教育施設を単なる貸館施設としてではなく、地域の活力を育む循環型の生涯学習拠点として位置づけ、地域住民や企業、福祉・高齢者分野等の関係団体とも連携を図りながら、多様な学習機会の創出をはじめ、ICTを活用した柔軟な学習環境の整備に努めていく。

Q

社会教育施設の指定管理者制度の導入、導入の検討状況や課題認識を伺う。

A 「やまびこホール」については、中長期的な視点から指定管理者制度の導入の可能性を視野に入れることで、将来的に民間の柔軟な発想や運営ノウハウを活かし、施設利用の利便性向上やサービスの充実が期待で

Q

きると考えている。

やまびこホールの吹き抜け部分の既存空間を活用し、公民館機能やオープンスペースの機能を取り入れた新たな活用の在り方も考えられるのでは、その運営についても行政直営のみではなく、民間ノウハウの活用や、指定管理者制度、公民連携など多様な運営手法を検討する余地があるかを伺う。

A

施設運営については、行政直営にとどまらず、民間事業者のノウハウや柔軟な発想を取り入れる指定管理者制度や公民連携など、多様な運営手法について研究を進める。



なわい きよこ
縄井 貴代子



青切符導入後のまちの自転車政策について

Q 見えにくい路面表示の再塗装や補助第4号線（通称：藤谷街道）等へ自転車ナビマークを追加するなど道路整備への取り組みは。

A 道路整備は必要に応じて対応。藤谷街道は道路舗装の打ち換え時に、自転車ナビマークを取り入れたい。交通安全上、早急な対応は考えていく。

Q

自転車用ヘルメット購入費助成事業の再度推進を。

A 多くの町民から意見やご要望が寄せられる際には、再実施の検討を進めたい。

Q 誰一人取り残さない災害対策を防災担当者を長期的な視点で育成することは重要。数年単位の異動ではなく、同じ担当者が長年経験を積み町を守り続ける体制を求め

A 特定の職員を長期にわたり固定化することは現状では

難しい。

災害に強いまちづくりは重要な課題。日の出町として、どのような形が良いのか。災害対応の経験をもつ職員も大勢いる中で、今後の対応を考えていきたい。

Q 「災害はトイレに始まりトイレに終わる」と提唱されている。トイレカーなどの準備を進めるべき。

A 総合的に勘案し、現時点での導入は考えていない。

Q 「母子専用避難所」の環境は整えられているか。

A 未整備であるが、十分に配慮した運営の必要性は認識している。



自転車も一旦停止で事故防止



萩原 隆旦
はぎわら たかあき



公共施設等長期保全計画（ロードマップ）について

Q 第1期（2020～2024年度）の大規模修繕実施状況は。

A 高度成長期に整備した施設が更新時期を迎えており、維持管理費増大が課題。施設の状態と優先度を考慮しつつ修繕や解体統合などを計画的に進めてきた。今後、も施設の適正配置と計画的保全に努める。

A 計画通り修繕実施施設が12、前倒し実施施設が2、次期間間に繰り越して実施したのが3施設。残り17施設も早急に実施したい。

Q 解体・統合などが計画された9施設の現在までの実施状況は。

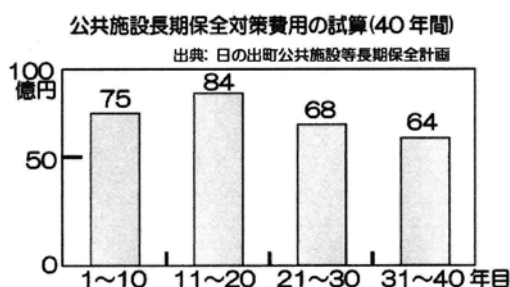
A 計画通り解体・統合を実施したものはない。地域ニーズの変化や代替機能確保の必要性などが理由。

Q ロードマップでは第1期の保全費総額を36億円と見積

A もっているがその実績値は。実績額は約14億円。差異の要因は、設計や工事内容の見直しなど。

Q 建物劣化度評価で最も劣化が進んでいると評価された施設（大久野中、つるつる温泉、保健センター、教育センター、志茂町児童館）の対策状況は。

A 教育センター、保健センター、つるつる温泉は外壁等の修繕を実施。残りの2施設は、職員による継続的目視点検等を実施し、外壁の剥落や漏水などの危険箇所がないか確認しつつ対策を立てていく。



鈴木 正彦
すずき まさひこ



カーボンニュートラル化推進について

Q 地域全体で地球温暖化の取り組みが挙げられている中、トレードオフを解消する必要があるが町の考えは。

A 「脱炭素と経済・生活とのトレードオフ」を解消し、環境対策を町の強みへと変えるため、本年4月に西武信用金庫及び株式会社バイウィルと日の出町の三者間で「カーボンニュートラルの推進に向けた連携に関する協定」を締結。

A 「ジョークレジット」という売買可能な環境価値・経済価値へと転換することが可能となった。

Q カーボンニュートラル（CN）化推進による移住定住促進の可能性は。

A 若い世代からも選ばれる「暮らしやすくなるまち」の実現を掲げ、自然と共生するゼロカーボンシティとしてのブランドを確立することは

大きく3つあり移住定住の強力なインセンティブになる。

Q 住宅の省エネ化支援とその内容について。

A 各家庭における温室効果ガス排出量の削減と住民の皆様の経済的負担の軽減を両立するため、支援制度を展開している。

Q 東京都に準ずるのではなく、町独自の基準を定めることによって補助を使ってもうシステムへの導入は。

A 国、東京都に合わせた中で独自なものをさらに上乘せしていくというのが町にとっていいのではないかと考えている。

下記のQRコードからジョークレジット詳細がご覧になれます。





たま
い
玉井

ひろし
大



町民グラウンド公衆トイレへのAED設置について

Q 誰でも安心して利用できる公共施設づくりが求められているが当町の考えを伺う。

A (課長) 安全・安心のバリアフリー化に加え、耐震化や老朽化対策、防犯カメラや夜間照明の設置、緊急避難経路の確保など利用者の生命や健康を守るという観点も重要である。AED設置などにより年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが安全にかつ安心して利用できる公共施設の整備に努める。

Q 町民グラウンド公衆トイレの改修に伴いAED設置の考えがあるか伺う。

A (課長) 次年度に計画しているトイレ改修整備に合わせ、最新の機能面や導入コストとのバランスを精査し、AED設置を含めた「一歩進んだ環境づくり」に取り組む。引き取り手のない御遺体への対応について

Q

少子高齢化や単身世帯の増加、地域コミュニティの希薄化などにより、亡くなられた後に身寄りがない、あるいは親族と疎遠で引き取り手がいないケースが増加している。当町の現状を伺う。

A (課長)

高齢期に身近に頼れる御親族がいない単身高齢者が増加している。高齢化のさらなる進展に伴い、こうした単身高齢者等は今後も増加が見込まれる。行政において御遺体を引き取らなければならぬ事案についても今後、増加傾向が続いていくものと捉えている。



かわ
わき
とし
のり
川脇 敏徳



町の環境資源を活かした拠点化について

農と住が共存する住宅地の形成による魅力あるまちづくりについて

Q 農のある住宅地づくりについての考え方

町の認識、評価は。

A (課長) 住環境の質の向上、地域コミュニティの活性化、景観・環境保全、子どもの体験機

会の創出、移住・定住といった多面的な効果が期待できるものと認識している。

Q 農住共存型住宅地を本町におけるモデル的な取り組み導入について。

A (課長) 都市整備局が提供する情報や他自治体の先進事例について、町に適した形での導入の可能性を調査研究することは必要。

環境エネルギー・資源循環の研究フィールドについて

Q 富士山噴火時の国の対策や都の計画等における本町の役割・位置付けについて。

A (課長)

災害情報の収集及び報告、住民への広報、火山灰の収集及び処分等を位置付けており、防災計画に記載された内容を確実に実施すること。

Q 国や東京都、大学研究機関、民間事業者等と連携し、本町を火山灰の再利用に関する研究・実証のフィールドとしての位置付けは。

A (課長)

有意義な研究テーマになる可能性があるが、地域住民の安全・安心の確保とご理解が優先される。国や東京都における火山灰対策の動向を注視するに留め、情報収集や先進自治体の事例など調査研究を実施したい。





嘉倉 たくし

治 おさむ



総合文化体育センター設置に関して

Q 総合文化体育センター設置

は待望久しい町民永年の願望であり設置場所、どのような内容、機能が備わるのか期待が高まりますが今後の実施計画、方針を伺う。

A 町内には郷土資料館やスポーツセンターはなく、図書館も手狭となる中で、三多摩都民が共同で利用できる総合的な文化・スポーツ施設を建設することは、町民の生涯学習の推進、関係人口の交流促進、広域行政の更なる進展に繋がるものと捉えている。

平成30年に策定した日の出町総合文化体育センター基本計画から8年経過することから、現行の計画と社会ニーズの変化を比較し、立地条件や必要な施設の規模を見極めることから始める必要があると考えている。現行の基本計画に固執する

Q

ことなく、真に町民が求める施設となるよう、町民意見の聴取に努め、骨格を固めながら、具現化策や進め方を検討していく。

A (課長)

今後、立地条件もさることながら資源循環組合、東京都との連携をどのような方式で行っていくのか伺う。

現行計画と社会情勢の変化とを再確認し、町民の方のご意見をどのように取り入れるか検討していきたい。住民に寄り添った施設に出来るよう考えている。具体的な東京都との連携はまだ進んでいない。



町内小学校・中学校の現状について

Q 小学校・中学校の過去の学力の推移は。

A (指導員)

小学校第6学年と中学校第3学年が調査対象の全国学力・学習状況調査の国語と算数・数学の令和3年度から令和7年度までの5年間の平均正答率を見ると、小学校の国語について令和3年度から順に56%、57%、58%、59%、62%と推移し、算数については、66%、56%、53%、54%、52%と推移している。

また中学校の国語については、令和3年度から順に64%、68%、64%、54%、51%と推移。数学については51%、48%、42%、51%、38%と推移している。小学校の算数、中学校の国語・数学の平均正答率は低下傾向にあり、テスト等で数値化して見ることで学力、認知能力に課題が見ら



平野 ひらの たかし



Q

小学校・中学校における学力向上に向けての今後の取り組みは。

A (指導員)

小学校における算数少人数指導と教科担任制、中学校における数学・英語の少人数指導を実施する他、学習支援員を配置し、一人一人の児童生徒のつまづき等を丁寧に見取り個々の児童生徒の学びの状況に応じた、きめ細やかな指導を行っていく。





野崎 智経
の とも のり



公共交通の再編と町民の移動手段の確保について

Q 移動手段の確保は喫緊の課題。公共交通をどう再編し解決するのか。

A (課長) 現状は町民ニーズを満たしていないと認識。今年度から2ケ年で「地域公共交通計画」を策定。町民アンケートを実施、計画に反映させる。

Q AI・自動運転等、民間の最新技術や広域連携など、多様な選択肢を「公共交通計画」の前提として盛り込む考えは。

A (課長) 運行形態を限定せず、あらゆる選択肢を土台に据える。町の特性や既存交通との住み分けを考慮し、将来を見据えた住民ニーズに適した体系の構築へ議論を重ねていく。

Q 社会福祉協議会・福祉バス事業廃止後の代替手段の確保は。

A (課長) 事業廃止が住民サービス低下を招かぬよう、他市町村

の事例を参考に代替手段の確保や自治会への支援を前向きに検討。次年度予算や事業計画での調整並びに特定財源確保も含め、スムーズな移行を目指す。

新学校給食センター整備の現状と財政負担について

Q 整備状況と資材高騰による追加負担への対応、運営費の分担は。

A (課長) 令和10年度の稼働へ工事は順調。建設費の追加負担は、あきる野市と受注者の協議を注視し慎重に判断する。運営費のうち施設管理に当たる経費等は、建設費と同様に(市65%・町35%)負担し、他は食数割で案分する方針。今後とも割合については協議を継続。



都内でも始動した自動運転タクシー 米「Waymo」



大澤 弘子
おおさわ ひろこ



町内施設の活用について

Q 庁舎地下一階について、災害時の炊き出し等による活用は。

A (課長) 現状調理器具等の整備・補充はないが設備内に異常がないことを前提に対応は可能である。

Q やまびこホール及びグリーンプラザの一般開放について。

A (課長) やまびこホールについては、事前予約不要の常時開放を行うためには運営体制の強化が必要である。クーリングシエルターとして1階ロビーを熱中症特別警戒アラート発表時に準じて実践的に開放を行い、良好な成果が得られれば通年での居場所としての実施が可能か前向きに検討していく。

長寿ふれあい食堂推進事業について

Q 本事業への考えは。

A (課長) 地域の高齢者が気軽に立ち寄り、交流を深めることで心身の健康増進等を図ることを目的とした東京都の事業で、住民主体の取り組み。町として実施予定はないが、高齢者支援の一つとして調査研究を継続していく。

チルドレンファーストの社会の実現について

Q 子供の未来を育む「体験活動」推進区市町村支援事業及びプレーパーク整備促進事業についての考えは。

A (課長) プレーパーク候補地選定やプレーリーダーの人員配置等、今後補助事業が活用できるよう前向きに検討していく。





はまなか
直樹



職員採用状況と消防団新規団員募集について

Q 過去5年間の職員採用試験における応募者数や倍率の推移は。

A 一般事務職の合格倍率は2.5倍、49・0倍と年度により大きく変動。応募者数は20人台で推移。

Q 若手職員の離職状況は。

A 30代以下の退職者数は近年増加傾向で、令和6年度は5人、7年度は3人。

Q 職員の年齢構成は。

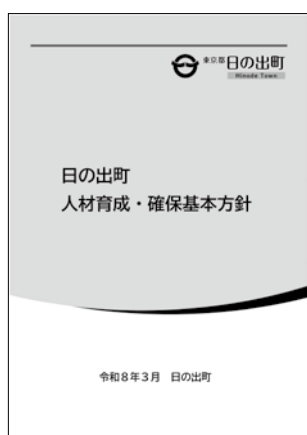
A 令和8年4月時点で40代は4.1%、50代以上が46・8%を占め、世代間の偏りが課題。

Q 今後の採用強化策は。

A 本年3月策定の人材育成・確保基本方針を踏まえ、採用年齢要件の拡大、SNS等を活用した採用広報、ジョブローテーション制度の検討などに取り組む。

Q 採用試験のエントリー方法は。

A 採用試験のエントリー方法は、



A

これまで申込書等は持参か郵送が原則だったが、応募期間中24時間どこからでも申し込める、ウェブエントリー方式の導入を検討している。

Q 消防団の新規団員の入団状況は。

A 入団者数は年2人台で推移し、令和7年度は2人と減少。

Q 新規団員の募集方法は。

A イベントでの勧誘、広報媒体での周知、現役団員による声かけなど多様な手法で実施。

Q 団員増加に向けた支援策は。

A 本年4月に団員報酬を改定し西多摩地域で最上位額となった。消防団協力事業所制度の導入検討やSNSを活用した広報強化も進めていく。

ひので暮らし応援券の利用期限について

ひので暮らし応援券の利用期限は、令和8年8月31日までになります。ご注意ください。



議会
豆知識

一般質問

一般質問とは町民の代弁の場であり町民の声を町政に届ける重要な役割があります。議員は質問内容をあらかじめ議長へ提出します。これを質問通告といいます。一般質問は一問一答方式にて行われ、質問時間は、執行部の答弁含めて1時間以内となっています。

お詫びと訂正

令和8年5月1日発行「ひので議会だより みらい218号」において、3ページの〈各会派と所属議員〉において、自民蒼政クラブの会派代表者に誤りがございましたので、お詫びして訂正いたします。

正 ★木住野 智行
誤 ★濱中 映慈



自習室開放中

いつもと違う環境で 勉強してみませんか

議場は、議員と執行部（役場の職員）が、議案を審議したり、議員による一般質問等を行ったりと、日の出町の大切なことを決定しているところです。

そんな議場を、夏休みの間、自習する場所として開放します。

中学生以上の方であれば、どなたでもご利用いただけます。

問い合わせ

日の出町議会事務局

電 話：042-588-5148

F A X：042-597-4369

住 所：日の出町平井 2780

実施期間と時間

令和8年7月21日～令和8年8月27日
（土日祝日・8月14日・20日を除く）
午前9時～午後5時

対象者

中学生以上

※町内在住・在勤等は問いません。

会場

日の出町役場 3階 議場

定員

40 席

利用方法は、[こちらから](#)



議 会 日 誌

東京都町村議会議長会 議員講演会



令和8年5月7日（木）に、東京都町村議会議長会議員講演会に参加しました。

講演では、跡美学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科教授 内閣府 被災者支援のあり方検討会座長 鍵谷 一 氏より、「議会の災害対応とBCP」をテーマに講話が行われました。

9月定例会日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18	19	20 議会運営委員会	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31 本会議 予算決算 常任委員会	9/1	2	3 本会議 (一般質問)	4	5
6	7 総務 まちづくり 常任委員会	8 厚生文教 常任委員会	9	10 予算決算常任委員会	11	12
13	14 議会運営 委員会 予算決算常任 委員会(予備日)	15	16	17 本会議 (議案審議)	18	19

会議日程は、変更となる場合があります

議会だより編集委員

野崎 智経
下向 辰法

玉井 大
大澤 弘子
(編集委員長)

鈴木 正彦
縄井 貴代子

発行 日の出町議会

編集 議会だより編集委員会

〒190-0192 西多摩郡日の出町平井2780 TEL 042 (588) 5148 (直通) FAX 042 (597) 4369

再生紙を使用しています。

請願・陳情は！

9月の定例会では、8月14日までに受理したものについて審議します。それ以降の受付の場合は、次回定例会で審議することになります。

平成28年9月20日より、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱が制定されました。

- 件名は、おおむね50字以内、趣旨、及び理由は合わせておおむね1,500字以内としてください。
- 郵送された陳情書は、要望書扱いとなりますので、必ず陳情者が持参してください。（開庁時にご来庁願います。）
- その他、詳しいことは議会ホームページの、日の出町議会請願及び陳情取扱要綱または議会事務局まで問い合わせください。

編集後記

2026年4月から新たな気象用語が制定されました。「酷暑日」です。最高気温が40度以上となる日。人の体温を大きく超える危険な暑さは、熱中症への嚴重な警戒が必要です。重大な健康被害が発生する恐れがある場合「熱中症特別警戒アラート」も発表されます。その際には町の公共施設などに、「クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）」を開設しますので是非ご利用ください。

また、今年も日の出町議会では、夏休み期間中に議場を自習室として一般開放しています。中学生以上であればどなたでもご利用いただけますので、詳細は議会事務局までお問い合わせください。

食いしん坊将軍の熱中症対策は真っ赤なスイカです。

夏の恵みを身体にチャージして元気な日々をお過ごしください。編集委員 縄井 貴代子